

陸上自衛隊航空機の部品落下について（要請）

令和2年5月13日（水曜日）、陸上自衛隊立川駐屯地より、「駐屯地所属のヘリコプターUH-1Jの訓練飛行後の機体点検時に、部品の一部が紛失していることが判明した。部品は長さ2センチメートル、重さ4グラムの金属製のスキッドシュー取り付けボルトである。」との連絡を受けた。

翌5月14日（木曜日）には、「本日、午前6時3分に駐屯地内で落下した部品を発見した。」との連絡があった。

立川飛行場は住宅密集地に隣接しており、今回の部品落下は、一步間違えれば人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものである。

貴職においては、このような状況を十分認識され、次の事項のとおり対応するよう強く要望する。

- 徹底した原因究明を速やかに行うとともに、再発防止策を講ずること。
- 機体の点検整備に万全を期すとともに、安全確保を徹底すること。
- 航空機の運用に係る安全対策については、周辺住民に対して、自ら積極的に周知を図ること。
- 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

令和2年5月14日

陸上自衛隊 立川駐屯地司令 木戸 和彦 殿

立川飛行場周辺自治体連絡会構成市長

立川市長	清水庄平
昭島市長	臼井伸介
小平市長	小林正則
日野市長	大坪冬彦
国分寺市長	井澤邦夫
国立市長	永見理夫
東大和市長	尾崎保夫
武蔵村山市長	藤野勝

幹事 立川市長 清水庄平

